

わが社の運輸安全マネジメントの取り組み

第 60 期（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

山梨総合運輸株式会社は、経営トップをはじめ全従業員が運送の安全の重要性を深く認識し安全を最優先に取り組んできました。

本年度は、コロナ禍の中更に安全が要求されることから、「輸送の安全に対する基本的な方針」に基づき、より一層安全な輸送を実現すべく全従業員が一丸となって取り組んでいきます。

1、わが社の輸送の安全に対する基本的な方針

基本を実行する

(1) 危険を勉強する (2) 実技訓練する (3) 健康起因事故を防ぐ

- 1) 危険予知のトレーニングを行い、事故を回避する。
- 2) 実技訓練を行い、運転技術を向上させ接触事故防止を防止する。
- 3) 健康起因による交通事故を防止する。

2、輸送の安全に関する目標

1) 交通事故の減少目標

項目	2022 年度目標	2021 年度実績
人身事故	0 件	0 件
物損事故	0 件	2 件
自損事故	0 件	1 件

2) 輸送の安全に対する計画と投資（1,340 千円）

- ① 危険を予知して事故を回避するため K Y T 活動を行う : 年 3 回
- ② 安全運転に繋がる燃費向上のため、外部機関による実技訓練を行う : 年 2 回（年間 20 名）
- ③ 安全運転技術向上を目的とした社内実技訓練を行う : 年 6 回
- ④ 荷台後方上部接触事故防止のため、バックセンサーの増設 : 1,000 千円（10 台分）
- ⑤ 血圧が高めの方は保健師指導を受ける : 対象者 100% 実施
- ⑥ 対象者の人間ドック受診 : 340 千円（17 名）

3、安全に関する反省事項

- 1) 社内実技訓練の目標回数が未達であった。
- 2) 軽微な構内物損事故が 4 件発生し、その内 2 件がバック時の後方建屋底損壊事故であった。

4、反省事項に対する改善方法

- 1) 社内実技訓練を 6 回必ず実施する。
- 2) 社内実技訓練では、車高感覚を習得する訓練を追加する。

5、事故に関する統計（自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故）

2021 年度・・・0 件の達成

2022 年 4 月 1 日
山梨総合運輸株式会社
代表取締役 樋口恵一